

# 天王森通信

2022年7.8.9月号 No.115 発行：天王森泉公園運営委員会

写真【2022年6月「ほたる観賞会」ホタルの飛んでいる様子】

## 熱中症に注意してお客様を安全に

運営委員会会長 角本 等

天王森泉公園の「田植え体験」5月28日をはじめとする3回、「ほたる鑑賞会」を終え、6月6日～9日（6日雨天中止）3日間も好評のうちに無事終了いたしました。本来ならば梅雨の真っ最中のはずですが、関東甲信は6月27日に短い梅雨が明けました。

今年は、ラニーニャ現象で、最高気温が25℃以上の夏日や、30℃以上の真夏日が多々あるようです。

とくに、これから「熱中症」に、気をつけなければなりません。コロナ禍の中、来園のお客様及びボランティア、事務局員（スタッフ）を熱中症から守ることが、最重要課題となります。この課題を踏まえて、これからの行事を安全に行うつもりでおります、皆様のご協力をお願いいたします。

今年は開園25周年となり、11月15日（日曜日）開園記念日の「天王森まつり」を記念祝典として賑やかに行う予定です。

皆様のご参加をお待ちしております。

## ホタル生息環境の整備と「ほたる観賞会」

ここ数年、天王森泉公園に発生するホタルが減ってきました。くわくわ森側溝の街灯がLEDになり、その影響で30～40飛んでいたホタルが5～6匹に減りました。裏庭せせらぎのホタルも半数になりました。昨年夏からホタルグループを立ち上げ、

・せせらぎについては、餌のカワニナを池からホタルの住むところへ移動し、餌をしっかりと食べてもらう。

・ホタル研究所跡地については、生息環境を整備しホタルが復活するよう作業を続ける。この2項目を目標としています。

6月の「ホタル鑑賞会」での数が増えたか心配でしたが、7、8、9日の3日間、25～35匹くらいが樹林下で飛び交いホツとしました。最終日は来園者も500人となり、初めて見る方も多く、また何年も見続けてこられた方が「今年は綺麗だったね」と喜ばれていました。 By 山本 巖



【ホタルを鑑賞されている様子】



【中央縦にホタルが多く飛んでいます】

天王森泉公園行事カレンダー（予定）詳細はホームページを参照ください。



### 「生き物調査観察会」

7月5日(火) 自由参加  
8月2日(火) 自由参加  
9月6日(火) 自由参加  
モニタリング調査



### 「七夕まつり」（短冊飾り付け）

6月29日(水)～7月7日(木)  
竹林の竹を使って七夕かざり



### 「夜の虫ライトアップ」

7月31日(日)参加予約制  
光に集まる生き物の観察・調査



### 「水辺で遊ぼう生き物観察会」

8月7日(日) 参加予約制  
和泉川の水辺の生き物観察



### 「かかしコンテスト&展示」

8月31日(日)～9月28日(日)  
(調整中・日程の変更可能性有り)  
地域連合との共催



### 「大人のそば打ち体験」

9月25日(日)  
\*技が奏でる食感の楽しみ体験



### 「巣箱作り体験」

10月9日(日) 参加予約制  
巣箱キットで作り、森にかける



### 「稲刈り体験」

10月15日(日) 参加予約制  
小学生以下、地域幼稚園保育園



### 「新そばまつり」そば打ち有志が奉仕する新そばまつり

10月23日(日) 整理券配布



### 「天王森まつり」

11月13日(日)  
公園開園25周年記念行事  
天王森鍋・焼き芋・野菜直売など

天王森泉公園のホームページ  
<https://www.tennoumori.net>



天王森泉公園



## 森の保全

令和元年から始まった天王森泉公園の保全管理計画作成の間にナラ枯れによるコナラ・クヌギの100本近い伐採などが行われ、森に大きな変化がありました。

市の公園管理部によるフォローアップの講習会も専門家の先生のご指導で3回行われました。

6月におこなわれた北川淑子先生のお話によると、この公園の地理条件が相模原段丘という場所で、水分も多く貴重な植物が多様に生育している大変に良い場所であり、里山の植物管理も十分できている。これからは不要な樹木を間引き、光を入れながらコナラ・クヌギの幼木を育てキンラン、ギンランが絶えないようにと教えていただきました。

試行錯誤しながら森を守ってきたことが無駄ではなかったと、協力してくださったボランティアの皆さんに感謝です。 保全管理 山本



【現地を見ながらの講義】 【コナラの新しい芽吹き】

## 野の花苑

今年の夏は、熱くなりそうですが野草は、元気に育っています。

花の咲く時期が、少し早くなっているように思われます。

キキョウは、株数が多くなり株分けしたので、昨年と違う場所でも、咲いています。

他にも、ハンゲショウ、ミソハギ、カワミドリ、コバノギボウシ、シュウカイドなど、夏に会える花達が、お待ちしております。

虫刺されに気を付けて、せせらぎの水音も聞きに来てください。

By 井上



【シュウカイド】

【キキョウ】

## 竹林の小径



春竹の子が成長し竹林内が竹の秋に変貌?・・・春は竹の秋と謳われる「季語」

竹の葉が舞い落ちる散策路をぐるっと一回り、ウッドデッキ

でワサビ苑に遭遇、せせらぎの音、ホタルの乱舞部隊・初夏の木漏陽、竹林で一休み・パワー体感してみませんか By 大西

## 主な行事のご報告

### ■ 竹の子まつり 4月10日(日)



まん延防止が解除されたなか3年ぶりの開催で、多くの来園者があり、竹の子掘り体験、竹の子汁、竹の子のセリ販売や竹細工販売等がおこなわれ、多くの笑顔であふれました。

### ■ 五月まつり

5月5日(休日・木)

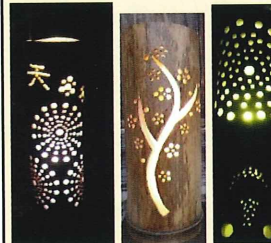


前庭を泳ぐ鯉のぼり、5月5日子供の日に「五月まつり」を開催しました。

公園の田んぼで作ったもち米を使ったパックもちや、子供の遊び道具を販売しました。

### ■ 竹灯り

6月7日～9日



ボランティア諸兄作「竹灯り」ホタル観賞会の宵を彩り魅惑の灯を演出しました。



### ■ 田植え体験

5月29日(土)他2日



2年ぶりに公園で管理する田んぼで、田植え体験を開催しました。コロナ禍の為、グループ参加のみにしました。なかよしこども園、かめの子学童クラブ、鳩の森OB(仮称)、苗場保育園、俣野保育園の合計190人が元気に田植え体験をしました。



## 天王森泉館利用案内

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎月第2・4火曜日(祝日は翌日)

年末・年始(12月29～1月3日)

問合せ先：天王森泉公園事務局 045-804-5133

館内施設の利用：利用日の2ヶ月前より申込受付